



南高SSHだより

第2号
H28.9.6
新潟南高等学校
SSH部発行

SSH Research Presentation Conference 2016

「SSH課題研究英語発表会」を開催しました

3年間の課題研究の集大成を英語で発表し、質疑応答もすべて英語で行う。7月17日、新潟ユニゾンプラザに於いて、3年生理数コース全員による「課題研究英語発表会」を開催しました。これまでも、従来の発表会や「北東アジア環境・エネルギーシンポジウム」等で一部の生徒が英語で発表する機会はありませんでしたが、「パワーポイントを用いた全ての口頭研究発表を英語で」という点で、本校初の取り組みとなりました。

3年生理数コースから11グループのプレゼンテーションがあり、本校保護者をはじめ、中学生など一般の方も多数の来場がありました。発表者たちは実に堂々とした様子で英語を使いこなし、大学教授や下級生からも質問が多く出され、活発な議論が繰り広げられました。外部からも高い評価をいただくことができました。



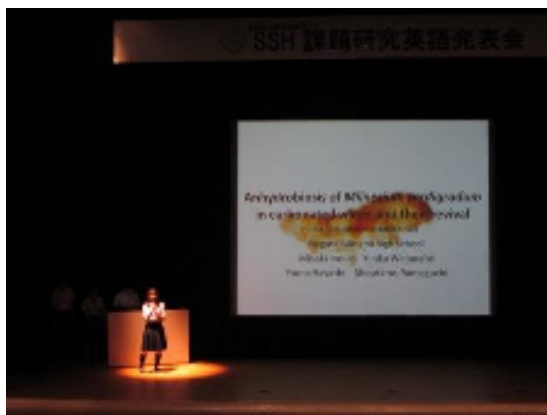
学校長も英語で開会スピーチを



3-9級長あいさつ



快活なプレゼンに引き込まれます



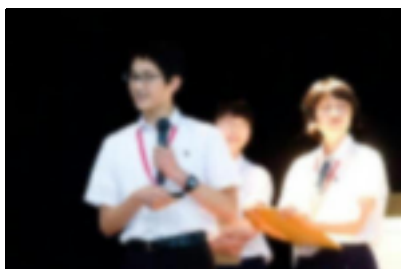
自身の研究成果と想いを会場へ伝えます



2年生からの質問は探究心に溢れたもので、先輩に一步も譲りません



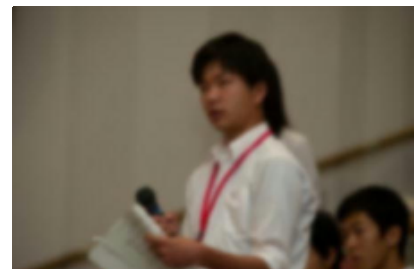
1年生は初の研究大会参加
3年生の英語力に圧倒されつつも
活発に質問を繰り返しました



We can change our future!



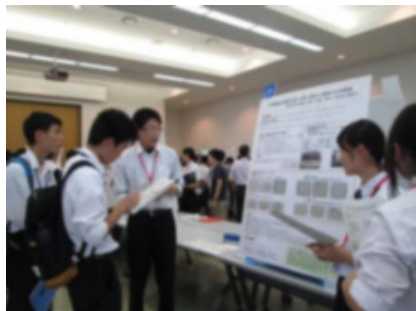
大学教授からも質問をいただきました



もっと深く知りたい！

ポスターセッション

午後に行われたポスターセッションでは、2年生理数コースによる、日本語での中間発表も加わりました。一般の方も多く来場いただきました。どの班も、質問に賢明に答え、自分たちの研究を紹介する姿が実に印象的でした。



次年度の本発表が楽しみな研究ばかりです。

成果と課題

発表会後に、SSH 運営指導委員・管理協力委員の先生方からの指導・講評の時間を設けました。その中で、委員の先生方からは、生徒が自分のテーマに責任を持ち、良く研究してあること、また英語運用力や伝達力について「非常に上手で感心した」と高い評価をいただきました。さらに英語による活発な質疑応答が成立していたことに「感動した」というコメントもありました。

一方、「なぜこの研究をするのか、より明確な主張ができるように」「必ずしも全員が立派な結論にたどり着く必要はない」などといった、研究のあり方についての貴重なアドバイスやご意見をいただきました。今後の本校のSSH 事業に生かしていきたいと思います。



感想抜粋

- ・(3年生の発表で)聴衆が質問をするときに、論理的な説明がされていたため、聞いている方もとても楽しかった。また、英語を用いて討論することで、質問者とそれを受ける人の両方がいろいろな面で成長できるのではないかと思った。また、ポスター発表のときに、JST の方々から色々なアドバイスを頂いたことで、これからの研究のヒントをつかめたため、とても良かった。これからは、大学の教授に教えを頂きながら、研究を進めたい。《2年生理数コース》
- ・まず、自分たちの研究内容を英語に直すのが大変であった。しかしその中でも、普段使っている単語が、専門的な意味を持っていたり、初めて知った言い回しがあったりとためになることが多くあった。また、自分の研究内容に限らず、何かを英語で発表するという機会はなかなかないので貴重な体験となった。今回の発表では、自分の英語を自信を持って発表することの大切さを学ぶことができた。このことを半年後の受験だけでなく、これからの人生に役立てていきたい。そして、これからの南高校の課題研究で、大きな発見がされることを期待する。《3年生理数コース》

今後の予定

平成29年年3月18日(土)に新潟ユニゾンプラザにて、北東アジア環境・エネルギーシンポジウムを開催します。

現2年生が中心となり、発表やポスターセッションを行います。また、県外や海外からの高校生も招待し、発表も英語で行う予定です。興味を持った方はぜひシンポジウムにもご参加ください！